

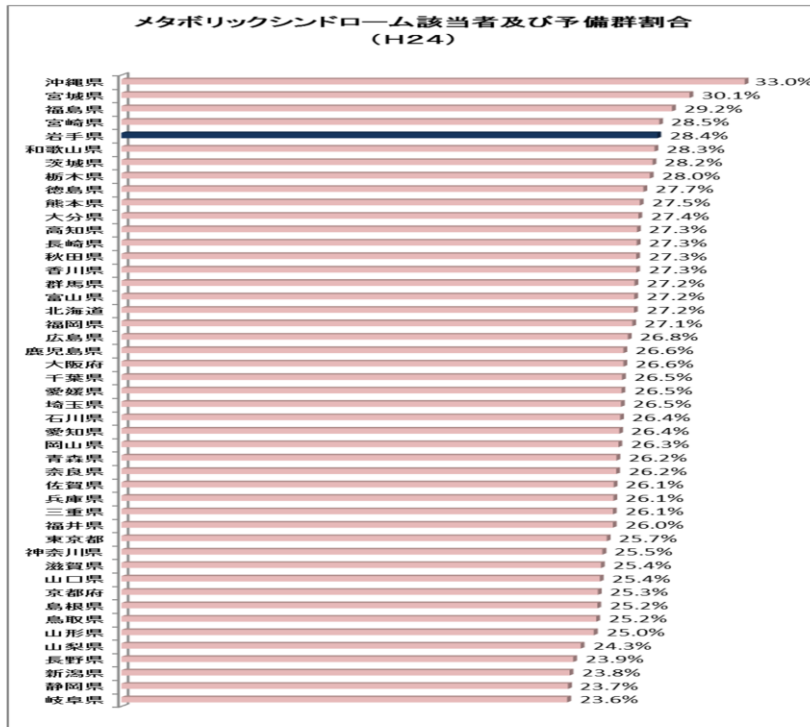


**最新データからみえる岩手県健康状態」  
～人口動態統計、特定健診データ、生活習慣アンケート等～**

**岩手県環境保健研究センター  
保健科学部**

# 特定健診示一々

# メタボリックシンドロームの全国の状況 (H24)

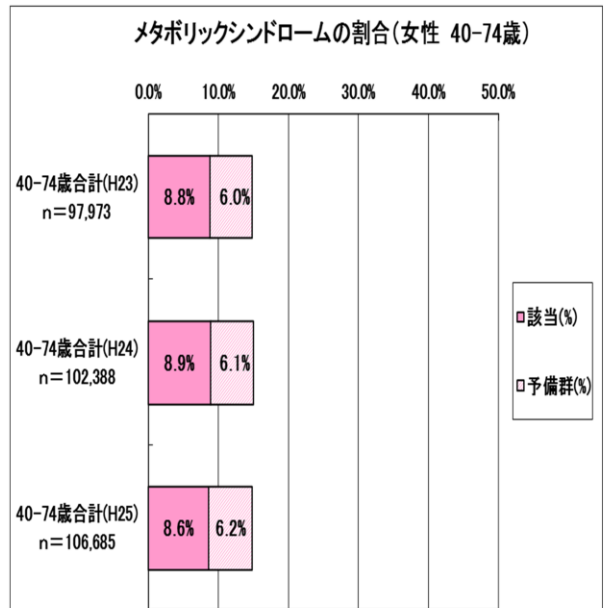
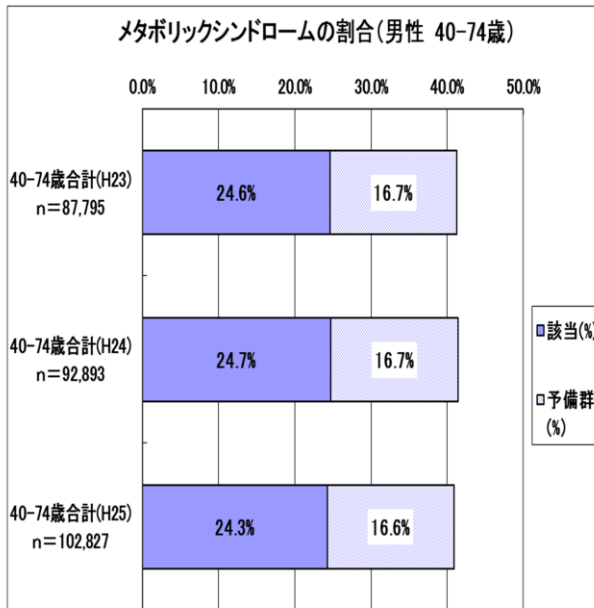


3

厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」より

- ・厚生労働省「特定健康診査。特定保健指導に関するデータ(平成24年度)」より、都道府県毎のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を高順に並べたものです。
- ・岩手県は、全国の中でもメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が高い状況です。

# メタボリックシンドロームの状況 1 (岩手県 40歳～74歳 年次別)

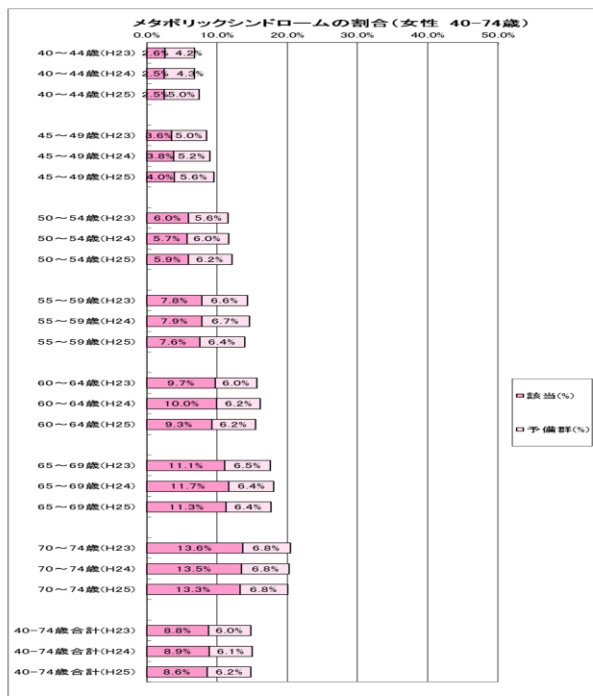
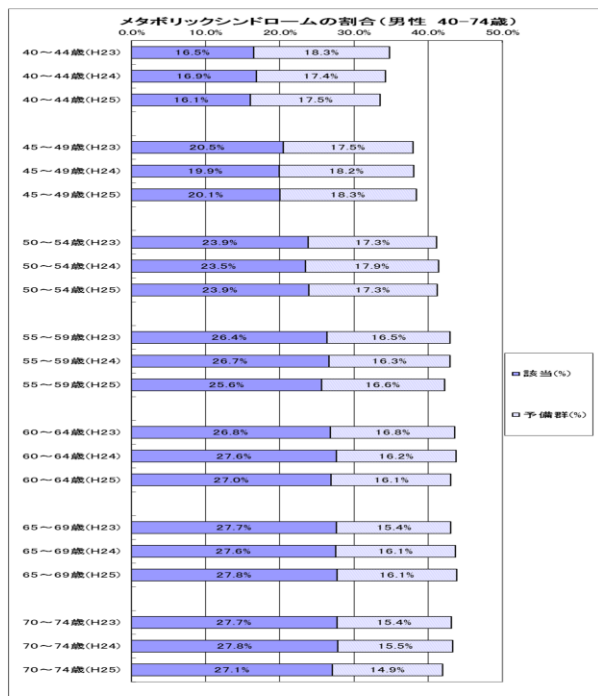


4

いわて健康データウェアハウスより

- メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合について、平成23年度から平成25年度までを経年的にグラフ化したものです。
- 男女とも、この3年間では大きな変化は見られません。

# メタボリックシンドロームの状況 2 (岩手県 40歳～74歳 年齢階級別)



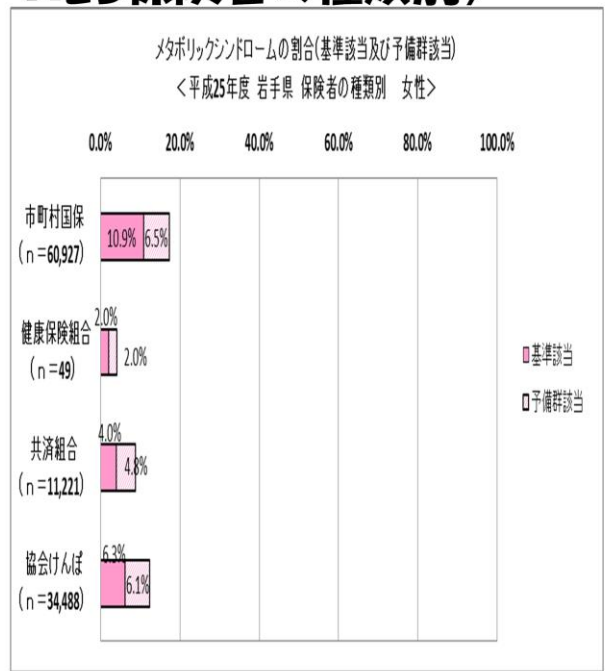
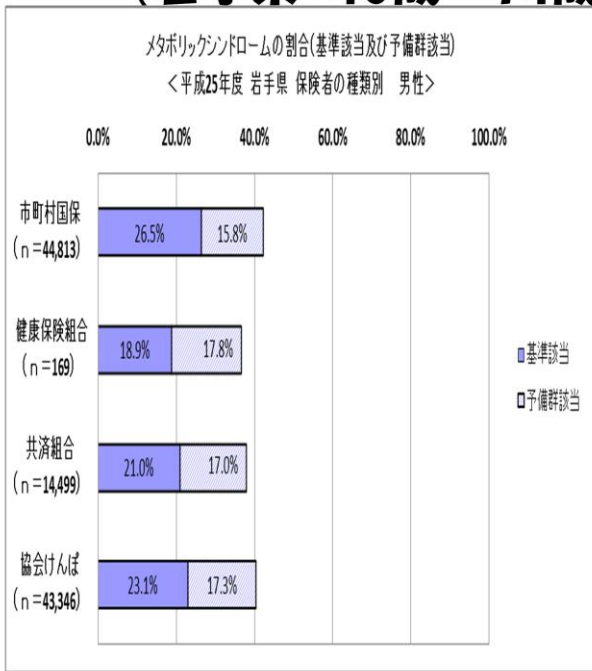
5

いわて健康データウェアハウスより

- ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合について、平成23年度から平成25年度までを年齢階級別に経年的にグラフ化したものです。
- ・男性の40～44歳、70～74歳では減少傾向ですが、その他については大きな変化は見られません。

# メタボリックシンドロームの状況 3

## (岩手県 40歳～74歳 H25保険者の種類別)

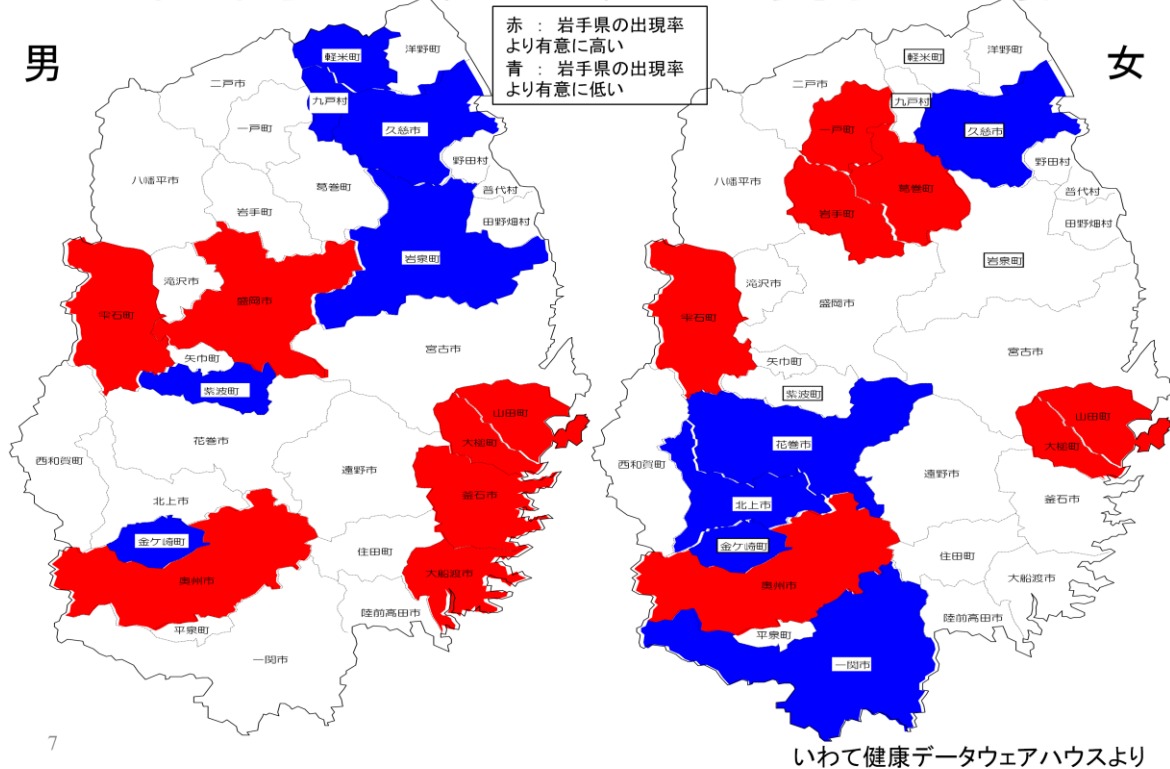


6

いわて健康データウェアハウスより

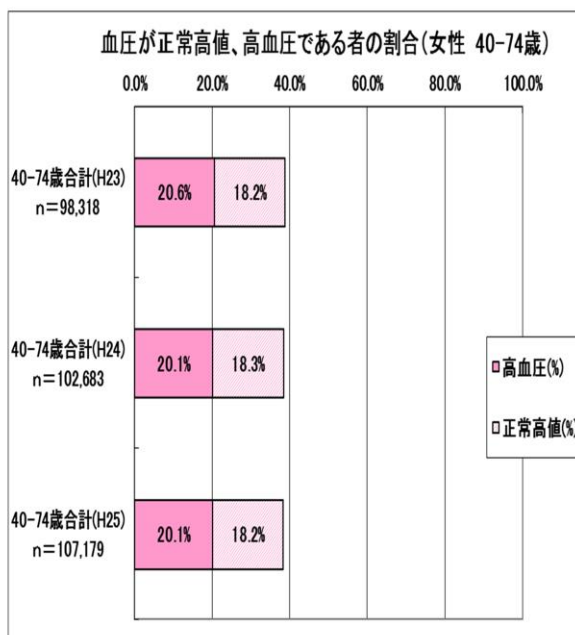
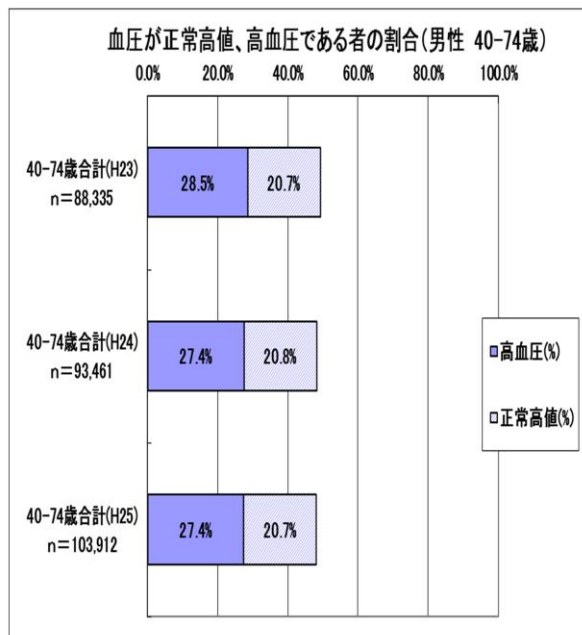
- ・平成25年度のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の保険者の種類別グラフです。
- ・男性は、60歳以上のデータが多数の「市町村国保」と、40歳から59歳までのデータが多数の「健康保険組合」「共済組合」「協会けんぽ」とが、ほぼ同じ割合です。

# メタボリックシンドロームの状況 4 (岩手県 40歳~74歳 H25標準化該当比)



- ・平成25年度のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合について、岩手県の割合を100として標準化該当比を算出し、マップ化したものです。
- ・岩手県より有意に割合が高い地域を「赤」、有意に低い地域を「青」としています。
- ・※標準化該当比:年齢構成が各保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比の計算方法に準じて算出するもの。

# 血圧の状況(血圧が正常高値及び高血圧の割合) 1 (岩手県 40歳~74歳 年次別)



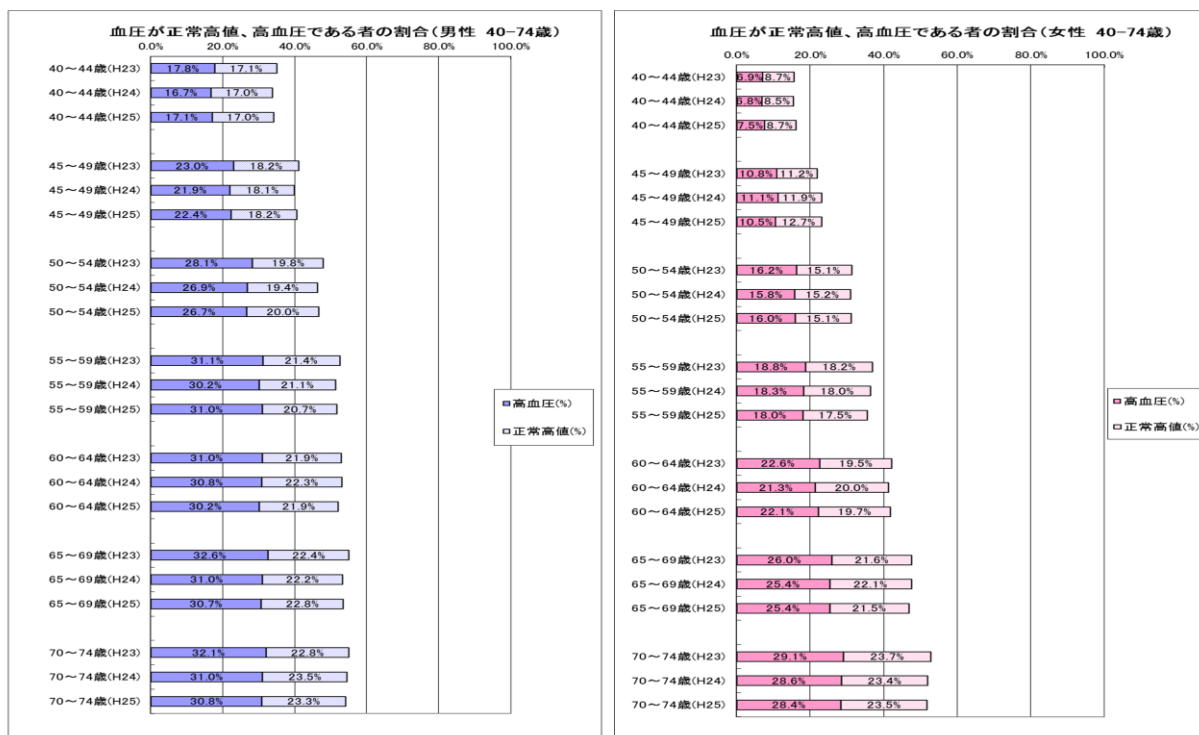
8

いわて健康データウェアハウスより

- ・血圧正常高値及び高血圧の割合について、平成23年度から平成25年度までを経年的にグラフ化したものです。
- ・男性では受診された方のおよそ半数が血圧正常高値及び高血圧です。
- ・男女とも、この3年間では大きな変化は見られません。
- ・※正常高値血圧 最高血圧130~139mmHg 最低血圧85~89mmHg  
高血圧 最高血圧140mmHg以上 最低血圧90mmHg以上



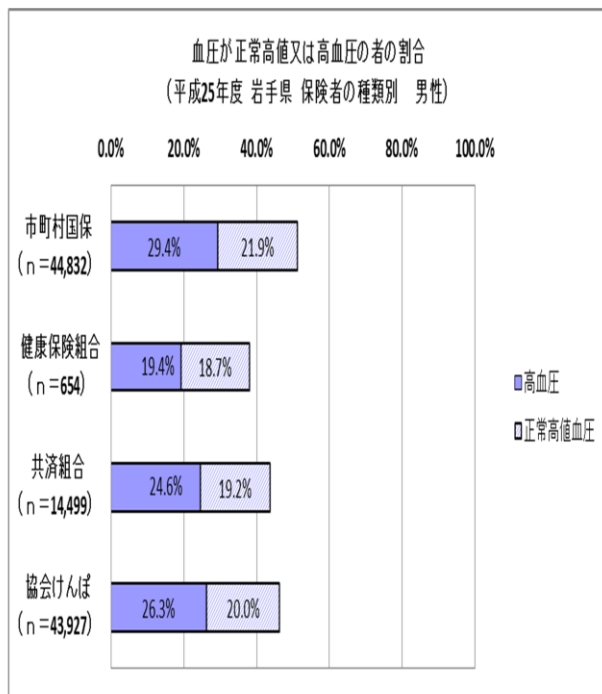
# 血圧の状況(血圧が正常高値及び高血圧の割合)2 (岩手県 40歳～74歳 年齢階級別)



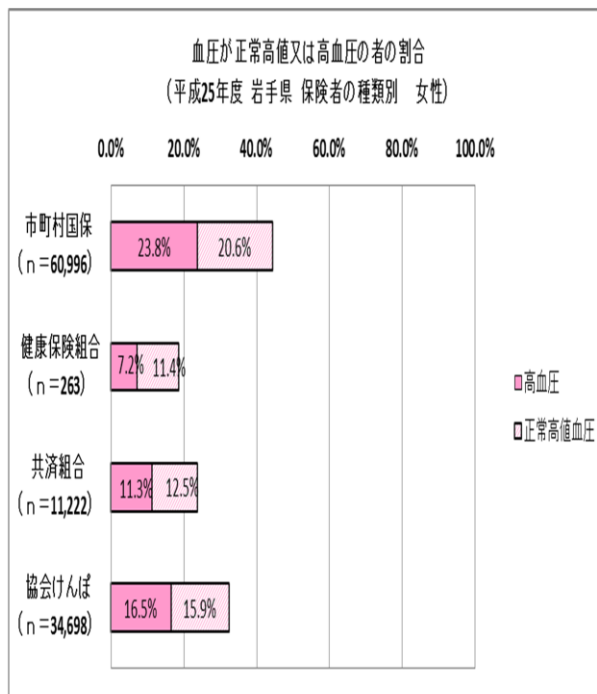
いわて健康データウェアハウスより

- 血圧正常高値及び高血圧の割合について、平成23年度から平成25年度までを年齢階級別に経年的にグラフ化したものです。
- 男女とも、どの年齢階級でも、大きな変化は見られません。

## 血圧の状況(血圧が正常高値及び高血圧の割合)3 (岩手県 40歳～74歳 H25保険者の種類別)



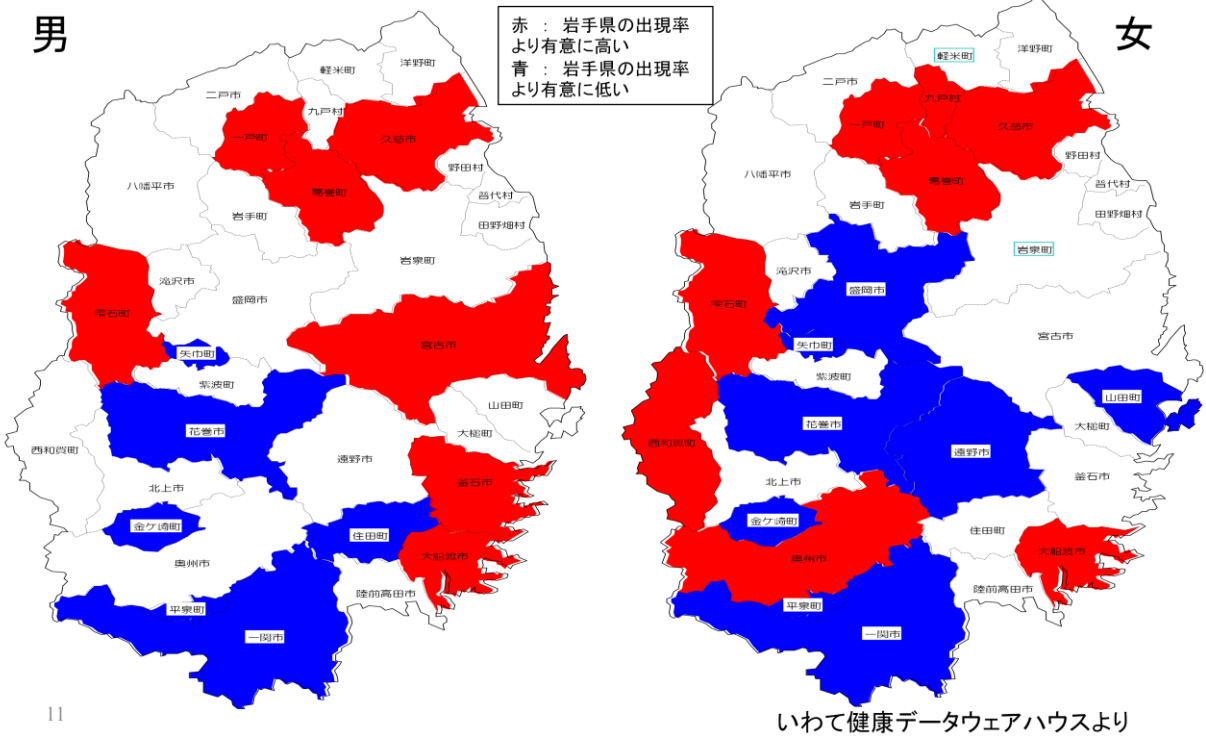
10



いわて健康データウェアハウスより

- ・平成25年度の血圧が正常高値及び高血圧の方の割合です。前週は岩手県全体でしたが、今週は保険者の種類別グラフです。
- ・医療保険者の年齢構成として、「市町村国保」は60歳以上が多く、「健康保険組合」「共済組合」「協会けんぽ」では働きざかり世代(40～59歳)が多いという特徴があります。
- ・どの医療保険者も女性より男性の方の血圧が正常高値及び高血圧の割合が高い状況です。
- ・市町村国保では男女ともにおよそ半数の方の血圧が正常高値及び高血圧です。
- ・※正常高値血圧 最高血圧130～139mmHg 最低血圧85～89mmHg  
高血圧 最高血圧140mmHg以上 最低血圧90mmHg以上

# 血圧の状況(血圧が正常高値及び高血圧の割合)4 (岩手県 40歳~74歳 H25標準化該当比)

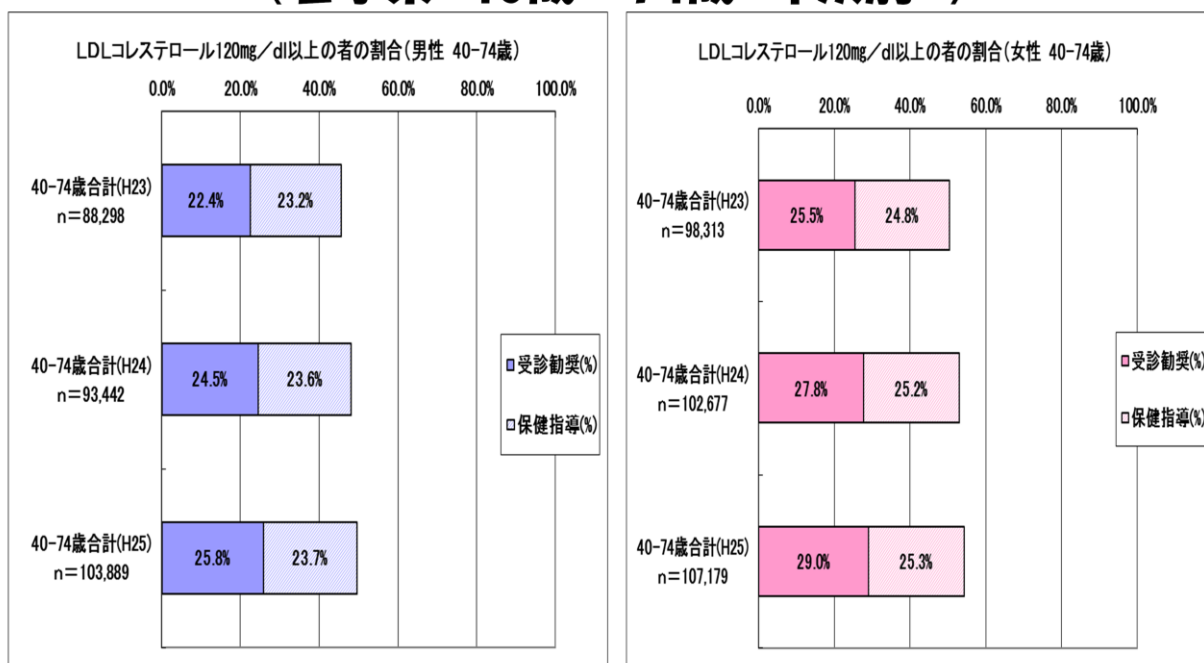


- ・平成25年度における血圧が正常高値及び高血圧の方の割合について、岩手県の割合を100として標準化該当比を算出し、マップ化したものです。
- ・岩手県より有意に割合が高い地域を「赤」、有意に低い地域を「青」としています。
- ・岩手県より血圧が正常高値及び高血圧の割合が有意に高い地域は、男性では県南地域、女性では県中央及び県南地域が目立ちます。
- ・※標準化該当比:年齢構成が各保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比の計算方法に準じて算出するもの。

# LDLコレステロールの状況 1

## (LDLが保健指導対象及び受診勧奨の割合)

### (岩手県 40歳~74歳 年次別)



12

いわて健康データウェアハウスより

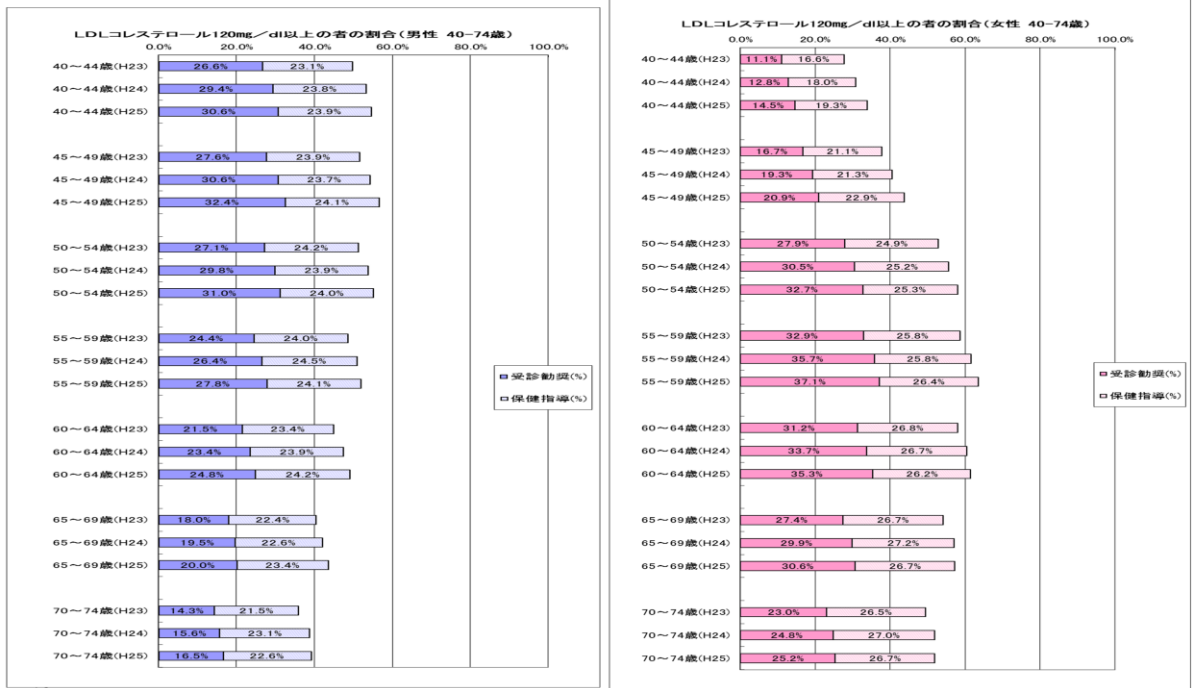
・40-74歳の男女それぞれにおけるLDLコレステロールが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、平成23年度から平成25年度までを経年的にグラフ化したものです。

・男女とも、この3年間で微増傾向です。

・※LDLコレステロール: 悪玉コレステロールとも呼ばれ、増加するとコレステロールが血管壁に溜まり、動脈硬化を引き起こす原因となります。

保健指導対象値 120~139mg/dL 受診勧奨値 140mg/dL以上

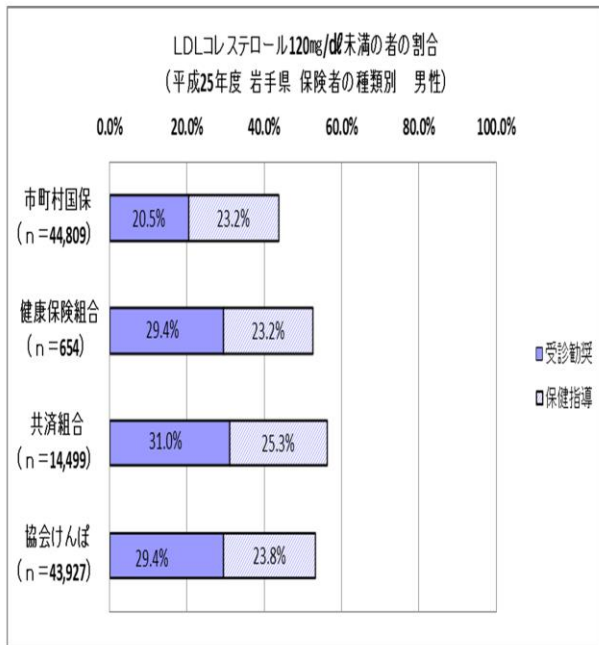
## LDLコレステロールの状況 2 (LDLが保健指導対象及び受診勧奨の割合) (岩手県 40歳～74歳 年齢階級別)



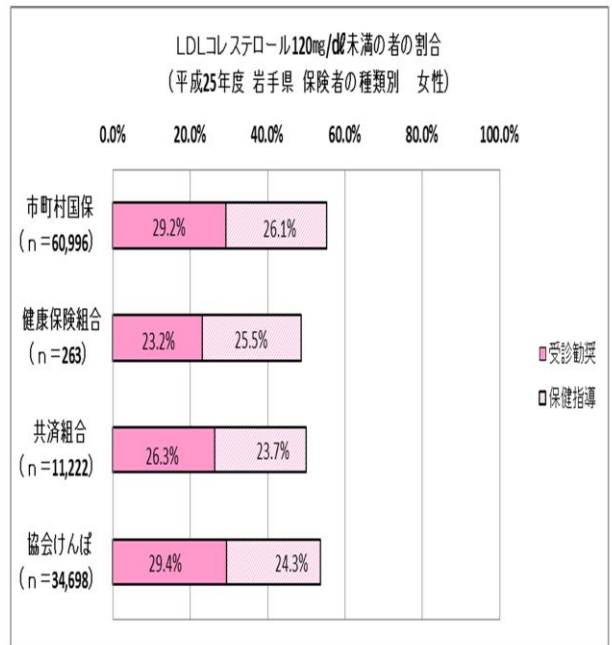
いわて健康データウェアハウスより

- LDLコレステロールが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、平成23年度から平成25年度までを年齢階級別に経年的にグラフ化したものです。
- 男女とも、全ての年齢階級において、増加傾向です。

# LDLコレステロールの状況 3 (LDLが保健指導対象及び受診勧奨の割合) (岩手県 40歳～74歳 H25保険者の種類別)



14



いわて健康データウェアハウスより

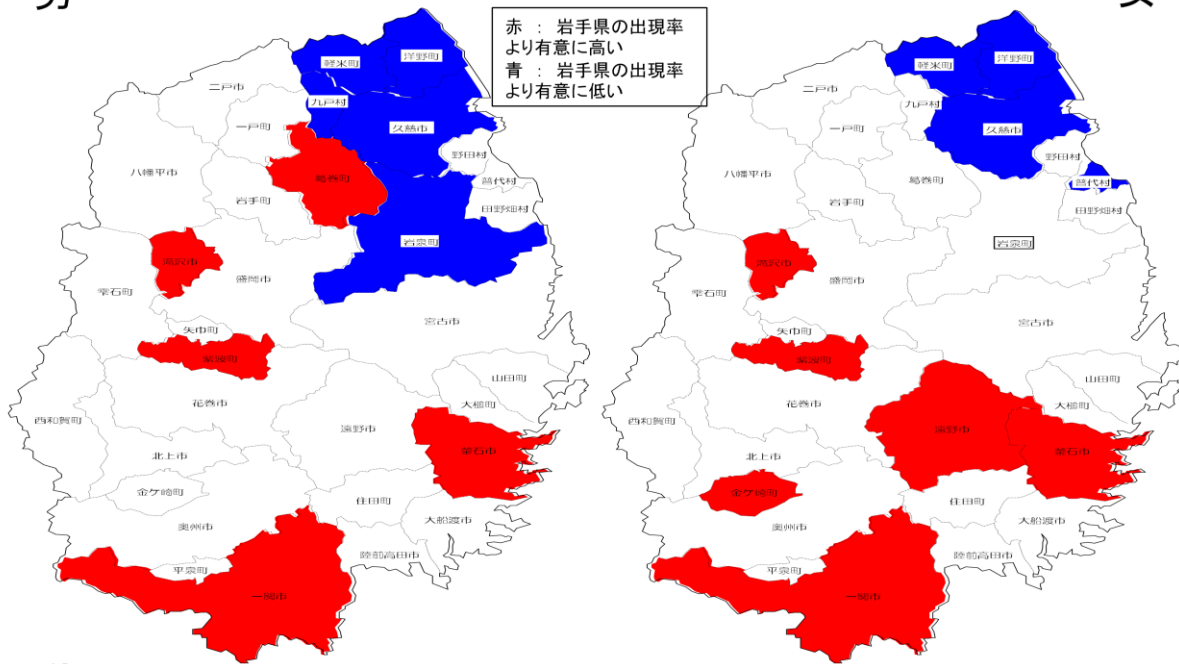
- ・平成25年度のLDLコレステロールが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、種類別にグラフ化したものです。
- ・「市町村国保」は60歳以上の加入者の割合が多く、「健康保険組合」「共済組合」「協会けんぽ」は59歳以下の働きざかり世代の割合が多い特徴があります。
- ・男女ともに、どの保険者においても保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合が4割を超えています。
- ・特に、男性では「健康保険組合」「共済組合」「協会けんぽ」、女性では「市町村国保」「共済組合」「協会けんぽ」において、保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合が5割を超えています。
- ・※LDLコレステロール:悪玉コレステロールとも呼ばれ、増加するとコレステロールが血管壁に溜まり、動脈硬化を引き起こす原因となります。

保健指導対象値 120～139mg/dL 受診勧奨値 140mg/dL以上

# LDLコレステロールの状況 4 (LDLが保健指導対象及び受診勧奨の割合) (岩手県 40歳~74歳 H25標準化該当比)

男

女



15

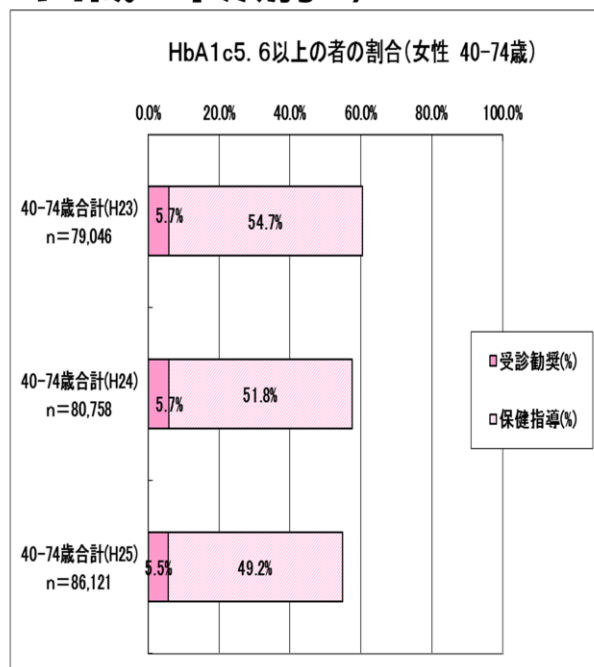
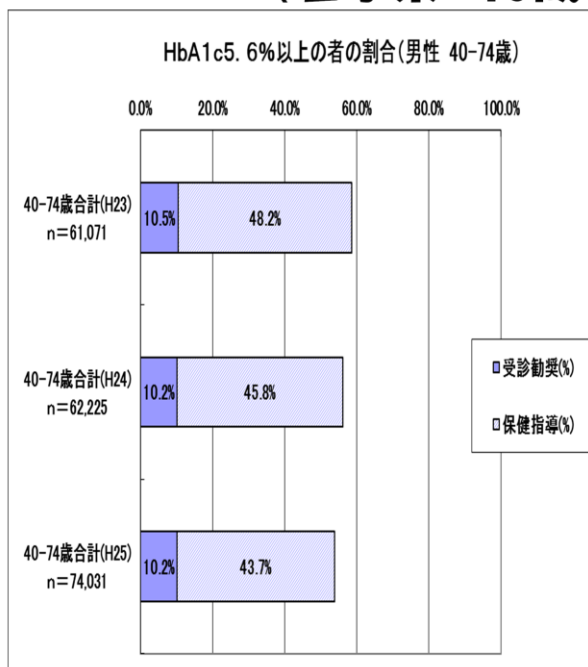
いわて健康データウェアハウスより

- 平成25年度のLDLコレステロールが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、岩手県の割合を100として標準化該当比を算出し、マップ化したものです。
- 岩手県より有意に割合が高い地域を「赤」、有意に低い地域を「青」としています。
- 男女ともに類似した地域性がみられます。
- 県北沿岸部に有意に低い地域が見られます。
- ※標準化該当比:年齢構成が各保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比の計算方法に準じて算出するもの。

# HbA1cの状況 1

## (HbA1cが保健指導対象及び受診勧奨の割合)

### (岩手県 40歳～74歳 年次別)



いわて健康データウェアハウスより

・HbA1cが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、平成23年度から平成25年度までを経年的にグラフ化したものです。

・男女ともに、保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合は5割を超えていますが、この3年間でわずかな減少傾向がみられます。

・※HbA1c: 過去1～2か月の平均的な血糖値を表す数値で、糖尿病の血糖コントロールの状態を示します。

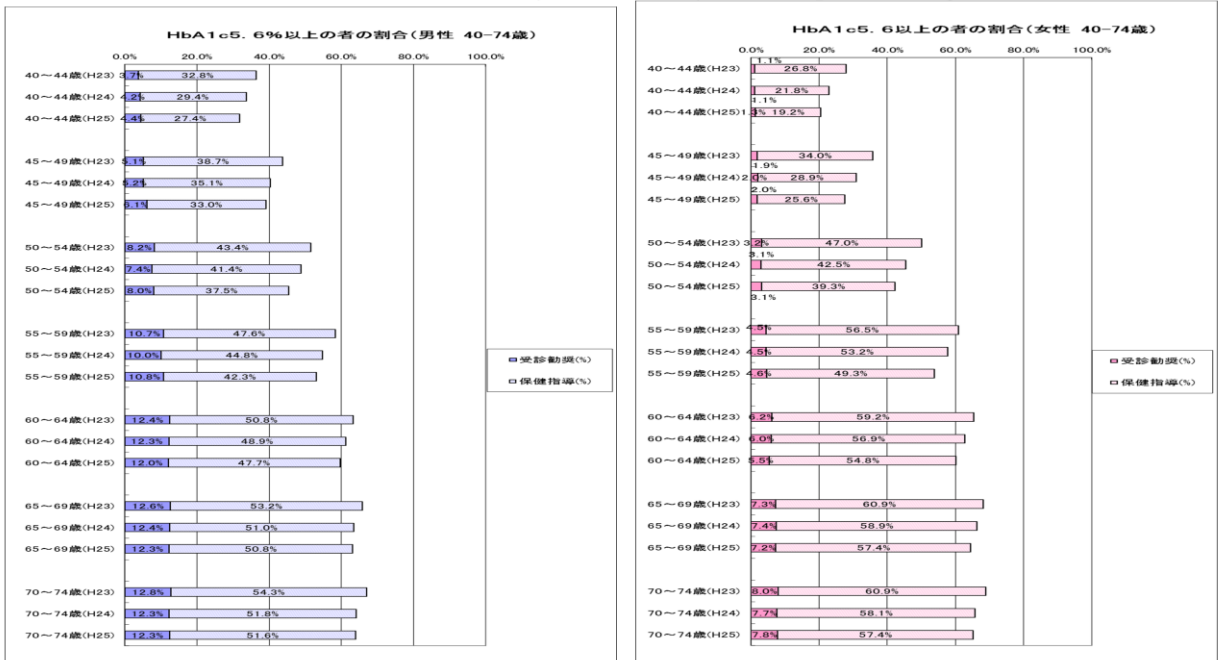
保健指導対象値 5.6%以上 受診勧奨値 6.5%以上



# HbA1cの状況 2

## (HbA1cが保健指導対象及び受診勧奨の割合)

### (岩手県 40歳～74歳 年齢階級別)



17

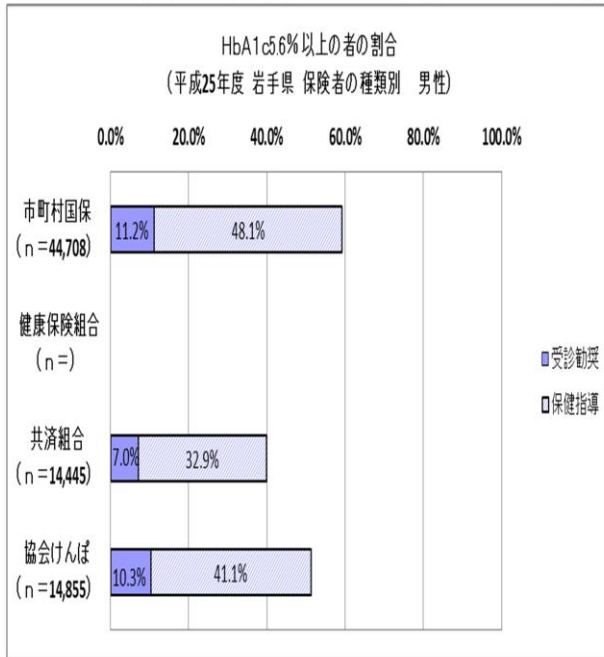
いわて健康データウェアハウスより

- ・HbA1cが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、平成23年度から平成25年度までを年齢階級別に経年的にグラフ化したものです。
- ・男女ともに、どの年齢階級においても、減少傾向ですが、65歳以上の男性及び60歳以上の女性では5割を超えています。

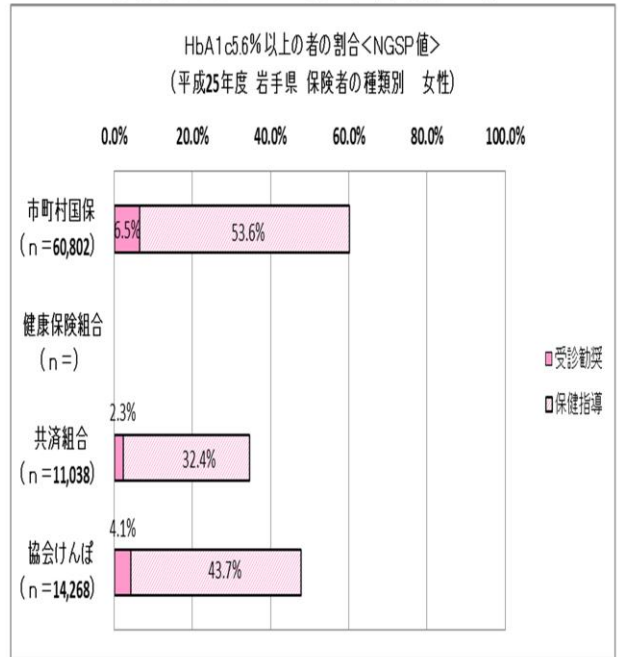
# HbA1cの状況 3

## (HbA1cが保健指導対象及び受診勧奨の割合)

### (岩手県 40歳～74歳 H25保険者の種類別)



18

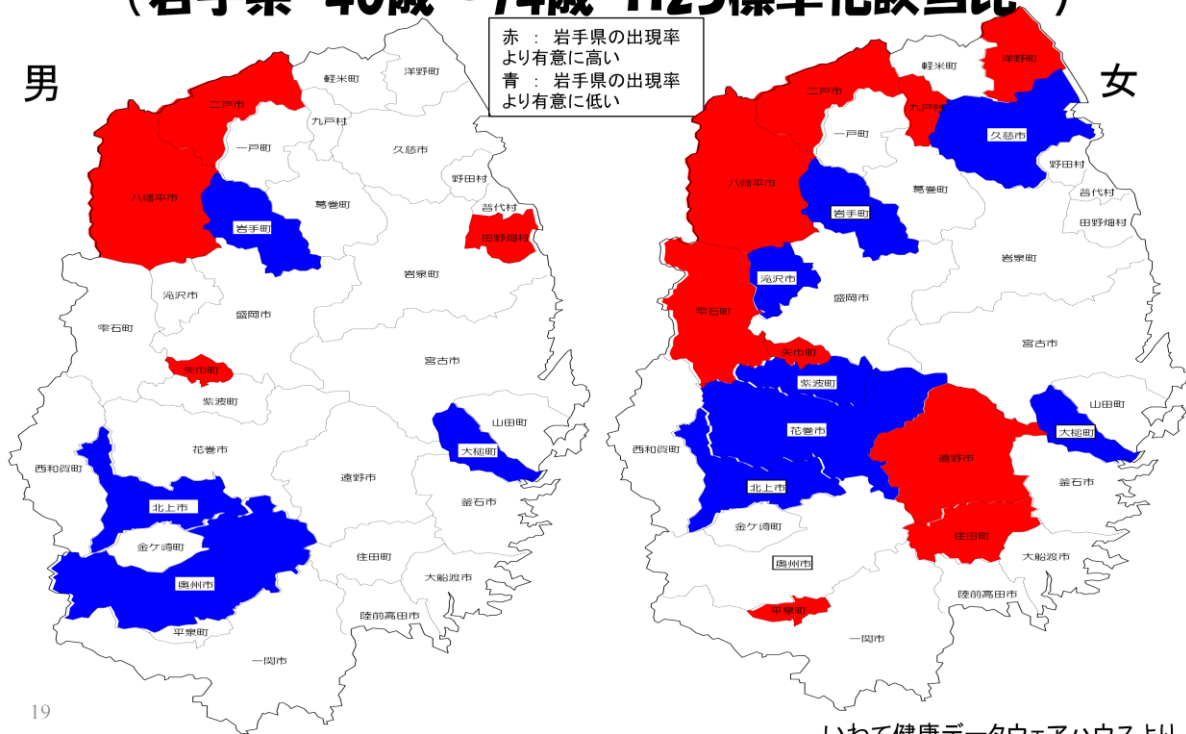


いわて健康データウェアハウスより

- ・平成25年度のHbA1cが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、保険者の種類別にグラフ化したものです。
- ・「市町村国保」は60歳以上の加入者の割合が多く、「健康保険組合」「共済組合」「協会けんぽ」は、60歳以下の働きざかり世代の割合が多い特徴があります。
- ・男女とも、「市町村国保」において、保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合が最も高く、およそ6割となっています。
- ・※HbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)：過去1～2箇月の平均的な血糖値を表す数値で、糖尿病の血糖コントロールの状態を示します。  
保健指導対象値 5.6%以上 受診勧奨値 6.5%
- ・※「健康保険組合」については、収集されたデータ数が少ないため、集計から除いています。

# HbA1cの状況 4

(HbA1cが保健指導対象及び受診勧奨の割合)  
(岩手県 40歳~74歳 H25標準化該当比)



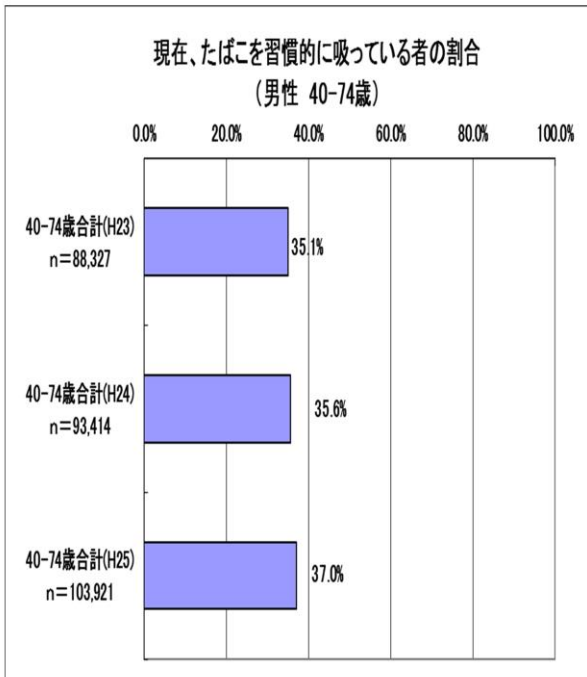
いわて健康データウェアハウスより

- ・平成25年度のHbA1cが保健指導対象値及び受診勧奨値の方の割合について、岩手県の割合を100として標準化該当比を算出し、マップ化したものです。
- ・岩手県より有意に割合が高い地域を「赤」、優位に低い地域を「青」としています。
- ・男女ともに、県北部に優位に高い地域があります。

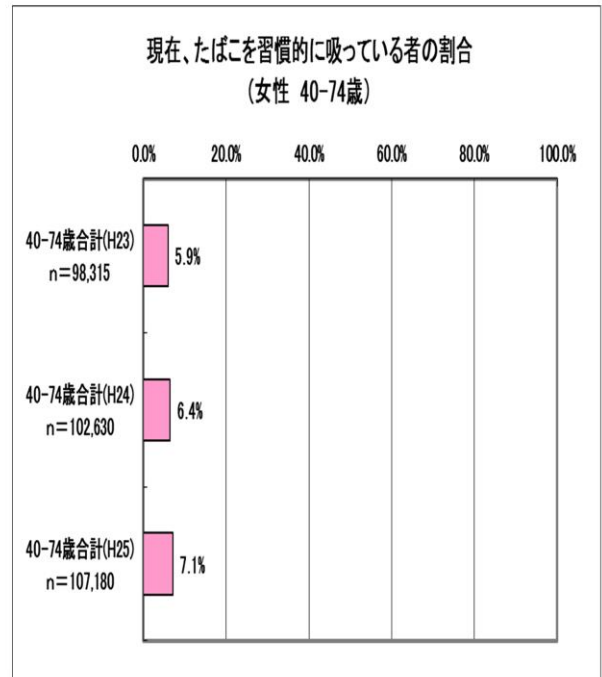
※標準化該当比:年齢構成が各保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比の計算方法に準じて算出するもの。

# 喫煙の状況 1

(標準的な質問票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」と回答した者の割合)  
(岩手県 40歳～74歳 年次別)



20

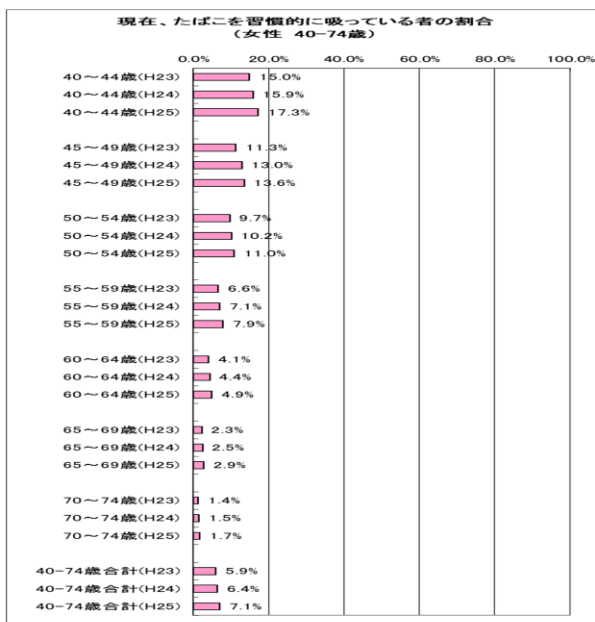
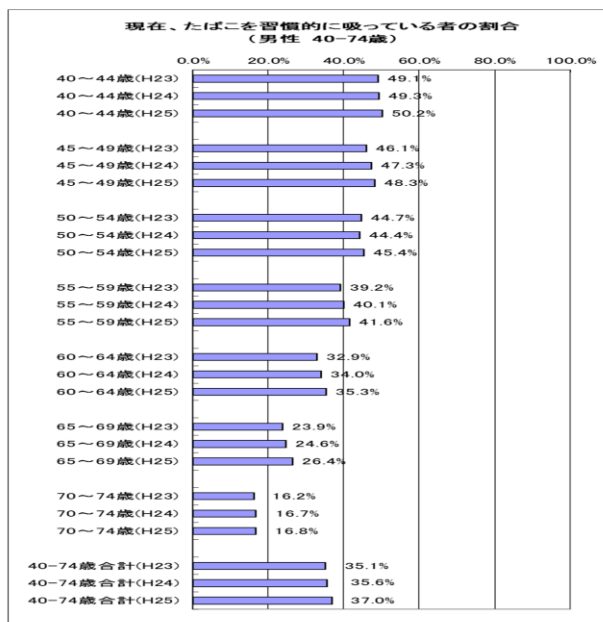


いわて健康データウェアハウスより

- ・特定健診の標準的な質問票において、「現在、たばこを習慣的に吸っている。」で「はい」と答えた人の割合について、平成23年度から平成25年度までを経年的にグラフ化したものです。
- ・男女とも、この3年間で微増傾向です。

## 喫煙の状況 2

(標準的な質問票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」と回答した者の割合)  
(岩手県 40歳～74歳 年齢階級別)



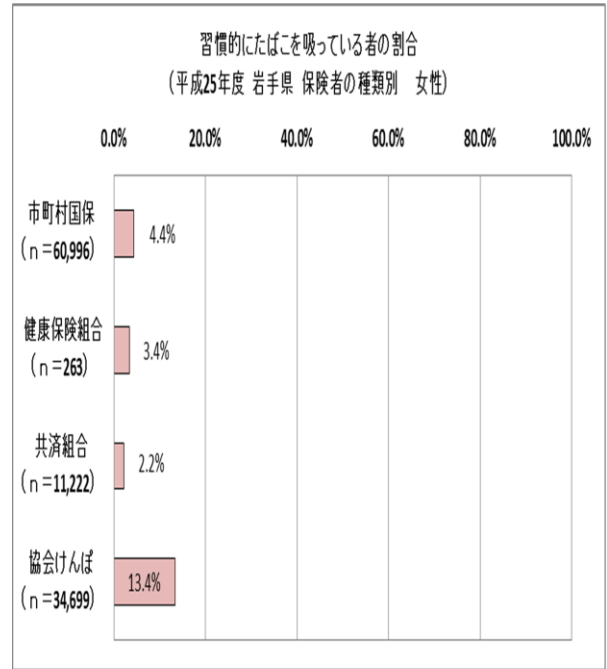
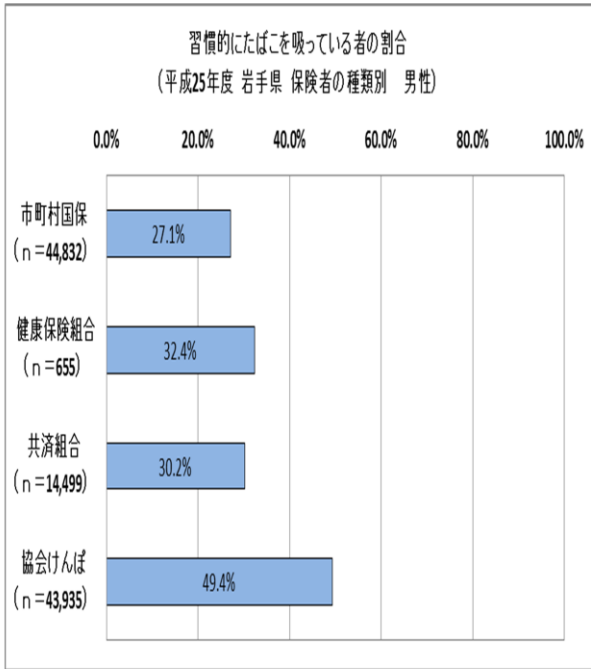
21

いわて健康データウェアハウスより

- ・特定健診の標準的な質問票の「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問項目で、「はい」と答えた方の割合について、平成23年度から平成25年度までを年齢階級別に経年的にグラフ化したものです。
- ・男女とも、どの年齢階級においても、微増傾向です。
- ・「現在、たばこを習慣的に吸っている」と回答した方は、男性では40～59歳で4割を超え、女性では40～54歳で1割を超えており、59歳以下の働きざかり世代において高くなっています。
- ・特に、男女ともに40～44歳で最も高い状況です。

# 喫煙の状況 3

(標準的な質問票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」と回答した者の割合)  
(岩手県 40歳~74歳 保険者の種類別)



22

いわて健康データウェアハウスより

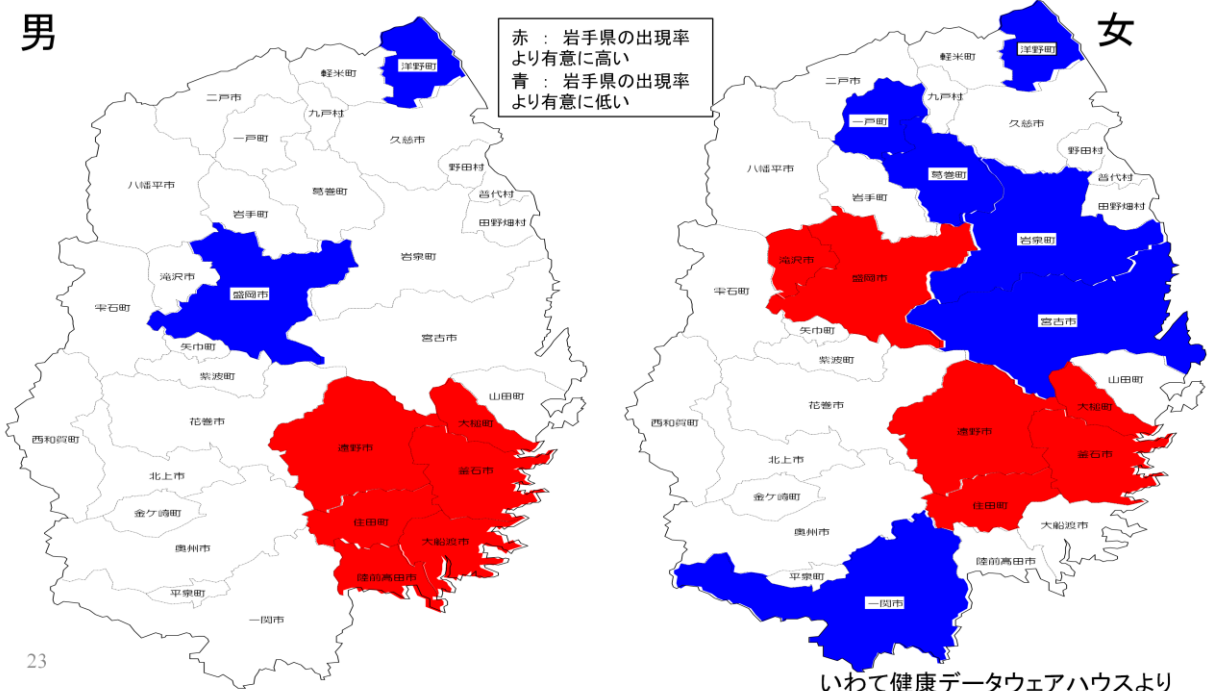
- ・平成25年度特定健診の標準的な質問票の、「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問項目で、「はい」と答えた方の割合について、保険者の種類別にグラフ化したものです。
- ・「市町村国保」は60歳以上の加入者の割合が多く、「健康保険組合」「共済組合」「協会けんぽ」は、60歳以下の働きざかり世代の割合が多い特徴があります。
- ・男女とも「協会けんぽ」において、「現在、たばこを習慣的に吸っている。」と回答した方の割合が最も高くなっており、男性では、「健康保険組合」「共済組合」においても、3割を超えています。

# 喫煙の状況 4

(標準的な質問票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」と回答した者の割合)  
(岩手県 40歳～74歳 H25標準化該当比)

男

女



- 平成25年度特定健診の標準的な質問票の、「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問項目で、「はい」と答えた方の割合について、岩手県の割合を100として標準化該当比を算出し、マップ化したものです。
- 岩手県より有意に割合が高い地域を「赤」、優位に低い地域を「青」としています。
- 男女ともに、県南沿岸部に有意に高い地域がみられます。
- ※標準化該当比:年齢構成が各保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比の計算方法に準じて算出するもの。